

## 【注意喚起】飯能市内で『レプトスピラ症』が発生しました!!

当院を受診したワンちゃんにレプトスピラ症の感染が確認されました。

飯能市内での感染が疑われます。レプトスピラ症は犬で**重症化**することが多く、**命に関わる病気**です。また、**人にも感染する人獣共通感染症**です。

### 【レプトスピラ症とは...】

レプトスピラ症は、レプトスピラ菌 という細菌が原因で起こります。

野生のネズミなどの感染動物の尿に含まれる菌が水や土を汚染し、それに触れた**動物や人に感染**します。

犬は特に発症・急性経過をとることも多く、**命を奪う危険がある深刻な感染症**です。

(⚠猫はレプトスピラに感染してもほとんどの場合発症することはありませんが、尿中にレプトスピラ菌を排菌する保菌動物になることがあります。)

### 【感染経路】

- ・散歩中に 汚染された水や土壌をなめる・飲む
- ・河川や冠水した場所に入って 皮膚や粘膜から菌が侵入
- ・保菌動物（ネズミ、アライグマ、犬、猫など）の動物の尿に直接触れる

⚠洪水などの災害後や梅雨～秋にかけての雨が多い季節 など、水がたまりやすい環境では感染のリスクが高まります。

### 【症状】

レプトスピラ症の症状は数日から14日程度の潜伏期間を経て、**発熱程度で改善するものから急性に症状が進行し死亡**する例まであります。

みられる症状としては...

- ・発熱、元気消失
- ・嘔吐や下痢、食欲不振
- ・出血や黄疸（白目や歯ぐきが黄色くなる）
- ・尿が出にくくなる、血尿が見られる

急速に腎不全や肝不全、貧血を起こし、死に至るケースもあります。

**致死率は50%程度**に及ぶとも言われています。

### 【診断と治療】

動物病院で血液や尿の検査を行い、感染の有無を確認します。

治療には 抗菌薬（抗生物質） が用いられますが、**腎不全や肝不全など重症化した場合は集中治療**が必要です。

### 【予防方法】

#### 感染リスクを下げる

- ・水たまりや冠水した場所には近づけない
- ・ネズミや野生動物が多い場所を避ける

#### 消毒 等

- ・熱(50℃ 10分で死滅)、乾燥、酸(次亜塩素酸ナトリウム)に弱い
- ・ヨード剤、逆性石鹼などで
- ・一般的な消毒薬で殺菌可能

#### ワクチンの接種を検討する

### 【ワクチン接種について】

レプトスピラ菌は特徴の違いによって多くの型(血清型といいます)に分類されており、250種類以上の血清型が知られています。その中で特に犬で問題となるのは8～10種の血清型と言われています。国内にあるワクチンでは4つの血清型まで予防することができ、その発症の阻止したり、重症化を防ぐことができます。

⚠️ 血清型が異なる場合には効果が十分ではなく、ワクチン接種をしている場合でも注意が必要です。

おうちの子の体調で気になることがあれば病院にご相談ください。

動物とご家族の健康と安全のためにレプトスピラ症の感染にご注意ください!!